

# 第14回演奏会 うた・ふぐるま

音楽監督・指揮 雨森 文也

ピアノ 西村 敦子  
平林 知子



## 懐かしい あの場所へ

2018

7/28(土)

13:30 開場

14:00 開演

OKBふれあい会館  
サラマンカホール  
(岐阜)

入場料 1,500円

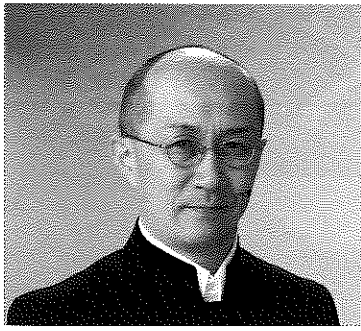
- 女声(児童)のための童謡名歌集  
「日本の四季めぐり」  
名田綾子 編曲
  - ・花
  - ・夏は来ぬ
  - ・夏の思い出
  - ・ちいさい秋みつけた
  - ・冬景色
- 同声(女声)合唱と  
ピアノ4手連弾のための組曲  
「さくら草の咲くまち」  
萩原英彦 作曲  
こわせ・たまみ 作詩
  - ・春の宿場町
  - ・けやき並木の朝
  - ・草いきれの中で
  - ・木犀の匂う坂道
  - ・歳の市
  - ・さくら草が咲いた
- 子どものための歌より  
三善晃&信長貴富 小品集
  - ・いまだよ
  - ・わりばしいっぽん
  - ・小鳥の旅
  - ・未来へ
- 女声合唱とピアノのための  
「世界中の女たちよ」  
信長貴富 作曲
  - ・花こそは心のいこい
  - ・たくさんの私
  - ・温かいシチュー

公益財団法人岐阜県教育文化財団助成事業

後援 ICDA日本合唱指揮者協会 岐阜県合唱連盟

公益財団法人岐阜県教育文化財団 大垣市音楽協会

お問い合わせ 0584-22-0296(太田)



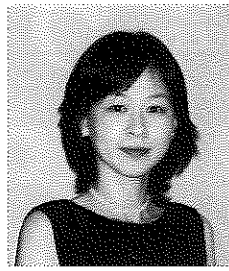
音楽監督・指揮 雨森 文也

1959年生まれ。名古屋大学経済学部卒。指揮法を黒岩英臣、ピアノを立川のふみの各氏に師事。現在は、CANTUS ANIMAE (東京)、合唱団 まい (長野)、Schola Cantorum Kumamoto (熊本)、うた・ふぐるま (岐阜) など11団体の音楽監督を務める。

全日本合唱コンクール全国大会で通算38度の金賞を受賞。2002年世界合唱オリンピックに於いてCANTUS ANIMAEが混声室内合唱部門でオリンピックチャンピオン(金賞第1位)に輝き、同時に指揮者賞を受賞。2008年にはアレツォ国際ポリフォニーコンテスト(イタリア)に於いて合唱団まいが時代区分別コンペティション(バロック部門)に於いて第1位を受賞し、同時に最優秀指揮者賞も受賞。

近時は、オーケストラとの学校公演などの指揮者としても積極的に活動している。

JCDI 日本合唱指揮者協会会員。



ピアノ 西村 敦子

名古屋芸術大学音楽部器楽科ピアノ専攻卒業。同研究生課程修了。

定期・卒業・同窓会新人演奏会・読売新聞演奏会などに出演。同大学の実技補助員を努め、独唱、器楽、合唱の伴奏者として活動。

これまでに、高橋仁美、天野裕子、伊藤彰子、原雅尚の各氏に師事。現在は、うた・ふぐるま、合唱団ムンテル・コールなどで活動。



ピアノ 平林 知子

京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立京都堀川音楽高校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻を卒業。

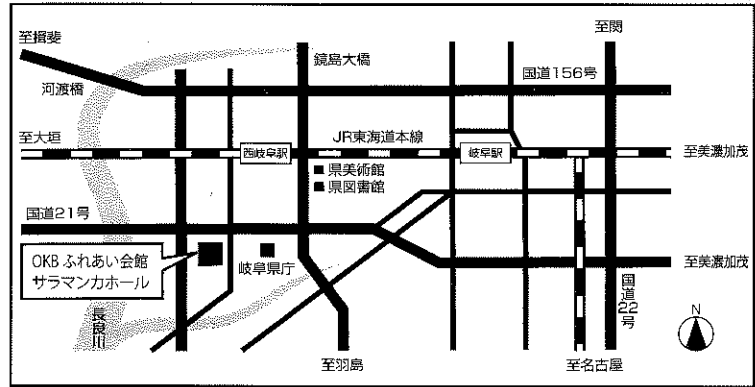
ピアノソロやデュオでリサイタルを開催した他、声楽・弦・管・打楽器との、アンサンブルや伴奏で多数の演奏会、コンクール、講習会に出演。

またFM放送やCD録音にも参加。新作初演にも多く関わっている。とりわけ合唱との共演が多く、現在関西を拠点に、東京、静岡、長野、愛知、岐阜などで計12団体の常任ピアニストをつとめる他、客演の機会も多い。

また、大阪の女声合唱団カンティ・サクレでは指揮者もつとめるなど、精力的に活動している。

## 第14回 演奏会 うた・ふぐるま

OKB ふれあい会館 サラマンカホール 岐阜市藪田南5丁目14-53 / 058-277-1113



「女盛りから墓場まで…」をキャッチフレーズに発足した「うた・ふぐるま」は、4つの委嘱作品の初演、フォーレ・バハ・モーツァルトのレクイエムをフルオーケで演奏・・・などなど雨森先生の無理難題(?)を受けて頑張っていたら、こんなに充実した軌跡になりました。

今回の演奏会では原点に立ち返り、日本の歌など女声ならではの4つのステージを、常任ピアニスト2人の競演でお楽しみ頂きます。

団員が18人から40人に増えて、このあとといったい何処に向かうのか?、未知なる展開に心おどる私たちです。

サラマンカホール 2017.7.17

うた・ふぐるま

